

トマトリコピンと DNA 損傷に関する最新情報

ライコレッド社

トマトリコピンの世界トップメーカー・ライコレッド社（本社イスラエル）は、リコピンと DNA 損傷に関する最新情報を簡単なレポートにまとめ、代理店経由で参考資料として提供していく。

今回のレポートにまとめられたのは、「リコピン摂取による DNA 損傷と発癌軽減効果」、「男性生殖能力における DNA 損傷軽減」、「放射線治療におけるガンマ線による DNA 損傷軽減」、「運動による DNA 損傷軽減」、「酸化ストレスでの DNA 損傷に与える食事の効果」など。世界各国の研究機関などで、リコピンを利用して進められた研究発表をまとめたもの。

「放射線治療におけるガンマ線による DNA 損傷軽減」では、ガンマ線によって誘発される DNA 損傷などに対するリコピンの軽減効果を評価した。DNA 損傷は細胞分裂ブロック小核評価分析などによって分析。放射線治療の前のリコピン摂取は、正常な細胞の損傷を軽減する効果などが確認されたという。

「運動による DNA 損傷軽減」では、エアロビクス運動など激しい運動により発生するフリーラジカルによる DNA 損傷低減を確認した。リコピンと大豆イソフラボンを含む市販の商品を 60 日間摂取させることで、抗酸化物質により DNA 修復経路を促進作用が確認された。

このほか、発癌性物質の鉄ニトリロ三酢酸を腹腔内に注射したラットの肝臓の DNA 損傷減少データでは、ラットの皮膚癌発生を抑制するためのリコピンなどいくつかの植物化合物を投与。過酸化水素によって誘発される DNA 損傷軽減効果などを確認している。

同社は、大学機関などと共同研究を進める一方、世界各国のリコピンに関する最新知見を集め世界に発信する。今回は「リコピン摂取による DNA 損傷軽減と UV 放射線に対する効果」について、まとめ世界各国での配布を開始した。「今後、リコピンの持つ可能性を多岐にわたり発信、訴求ポイントとしても活用していく」という。